

学校評価（前期）の結果と今後の取組

前期学校評価の結果をお知らせします。

保護者アンケートの回収率は67%でした。保護者の皆様には、アンケートへご協力ありがとうございました。

今回の評価結果を踏まえ、後期の教育活動の見直し・改善に努めるとともに、家庭や地域と一体となった教育の充実に努めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力くださいますよう、お願いいたします。

【評価の仕方】

各項目4段階（4点満点）で評価しています。アンケートの結果は児童及び保護者の回答状況を比較しやすくするため、各項目の平均値を算出して示しています。

1 授業中のルール

（児童3. 6 保護者2. 6）

児童の96%、保護者の81%が概ね守れていると回答しています。今後も引き続き、発表のしかたや聞き方、学習用具の準備、ていねいな文字でノートを書く、クロームブックの使い方などについて、全校で統一した「学習のやくそく」指導していきます。

7 ねばり強く学習に取り組む

（児童3. 5 保護者2. 6）

児童の98%、保護者の76%が概ねできていると回答しています。今後も引き続き、「個に応じた指導」の充実を図り、これまで以上に子どもの成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえ、きめ細かく指導・支援する授業改善に努めていきます。

2 生活のルールやマナー

（児童3. 6 保護者2. 8）

児童の99%、保護者の90%が概ね守れていると回答しています。廊下歩行等に課題が見られているため、今後も特別活動や道徳の時間などを通して、生活のルールやマナーを守ることの大切さについて、引き続き指導していきます。

児童アンケート「学校は楽しい」

（児童3. 4）

児童の83%「学校は楽しい」と回答しています。

これからも児童が楽しく学べるよう、分かる授業づくり、学校行事等を工夫するとともに、いじめの見逃しゼロを目指し、異学年交流など校内における居場所づくりの充実、子どもたちへの寄り添い、安心・充実感を感じられる居心地のよい場所になるよう努めていきます。

3 あいさつ

（児童3. 8 保護者2. 9）

児童の96%、保護者の89%が概ねできていると回答しています。今後も自分から進んであいさつすることや、時と場合、相手に応じた言葉遣いができるよう、引き続き指導していきます。

児童アンケート「各教科の勉強は好き」

（国語3. 5 算数3. 2 理科3. 2）

国語は86%、算数は71%、理科は80%の児童が「好き」と回答しています。算数は「退職人材活用事業」や「算数専科」の取組、理科は「高学年における専科指導」による結果が表れてきているのではと考えています。理科や算数では、専門性を生かした指導方法を通して、教科の特性に応じた興味関心を高める工夫や学習内容を活用する授業展開等を教職員の共通理解のもと実践していきます。また、国語では「読む」「書く」「漢字」などの指導を継続するとともに、どの教科に置けても、「自分の考えをまとめる」力を育てていきます。今後とも、一人一台端末等を有効活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を図る授業改善に努めていきます。

4 友達への思いやり

（児童3. 3 保護者2. 8）

児童の94%、保護者の89%が「相手の気持ちを考え、思いやることができているか」の質問に、肯定的な回答をしています。こちらが意図していなくても、相手が傷つくような言葉遣いや態度、がトラブルに発展する事例もあり、今後は様々な教育活動を通してコミュニケーション能力の向上を図り、相手の気持ちを思いやることのできる「やさしい子」の育成にさらに力を入れていきます。

児童アンケート「携帯電話の所持率」

「インターネットの利用」
「個人情報は公開しません」

児童の60%が自分の携帯電話を所持しています。また、児童の43%が「パソコンやゲーム機の通信機能で家族以外とネットやメールをする」と回答しています。さらに、児童の94%が「個人情報などを公開してはいけない」と回答しています。

学校では、情報モラル教室などで、使用上のルールやマナーについて指導しています。ご家庭でも「フィルタリングを設定する」「寝るときには、子ども部屋に携帯を持ち込ませない」「1日の使用時間を決める」などルールを設け、健康にも配慮した上で子どもたちに使わせていただきますようお願いいたします。

<参考>おたるスマート7

https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020110900838/file_contents/shou13.pdf

5 自分の思いや考えを書いたり、話したりして伝える

（児童3. 4 保護者2. 4）

児童の96%、保護者の86%が概ねできていると回答しています。まずは自分の思いや考えをもち、それをノートに書いたり、クロームブックでまとめたりする活動を位置づけるとともに、友達と対話しながら自分の考えを深める学習を増やしていきます。

6 対話的な学習

（児童3. 4 保護者2. 7）

児童の88%、保護者の89%が「話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりしているか」の質問に対し、肯定的な回答をしています。今後も引き続き、ICTを効果的に活用して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する課題解決型の授業改善に取り組み、子どもたちが互いに考えや思いを表現し合える環境づくりを心掛けていきます。

裏面もご覧ください

保護者アンケート

「学校は相談しやすい」

(保護者2. 8)

保護者の93%が「学校は子どものことをよく分かってきて、相談しやすい」と回答しています。

学校からの連絡にも対応していただいておりますが、何かお困りのことがあれば、皆様からも学校までお寄せください。

これからも保護者の皆様の期待と信頼に応える学校づくりを進めていきます。

保護者アンケート

「学校の取組や子どもたちの様子を
分かりやすく伝えている」

(保護者2. 9)

保護者の93%が「学校は、学校だよりや学級通信等で、学校の取組や子ども様子を分かりやすく伝えている」と回答しています。これからも学校の取組や考え方、児童の活動の様子がしっかりと伝わるよう情報共有に努め、HP や tetoru 等の有効な連絡方法についても検討していきます。

保護者アンケート

「毎日家庭学習に取り組む」

(保護者3. 2)

保護者の87%が「子どもは毎日家庭学習に取り組んでいる」と回答しています。ご家庭でも継続して、宿題をきちんとすることや国語の教科書の音読など「学年×10分+10分以上」を目指した家庭学習の習慣の定着に向けた「家庭学習頑張ろう週間」へのご協力も合わせてお願いします。家庭学習ゼロ時間0人を目指していきます。

児童アンケート

「体育が好き」

(児童3. 7)

「目標をもって運動に取り組む」

(児童3. 6)

児童の92%が「体育が好き」と回答し、95%が「自分で目標をもって体育の授業や運動に取り組んでいる」と回答しています。これからも体育専科教員の専門性を生かした授業改善に取り組み、主体的に体力を高めることができる子どもたちを育てていきます。

保護者アンケート

「早寝・早起き・朝ご飯+運動の習慣」

(保護者3. 0)

「家庭でもふだんから運動に親しんでいる」

(保護者2. 8)

保護者の89%が、子どもに「早寝・早起き・朝ご飯+運動」の習慣が身に付けられるよう意識していると回答しています。また、保護者の84%が「子どもは家庭での運動に親しんでいる」と回答しています。望ましい生活習と運動習慣を身に付けることは、学力向上・体力向上につながります。徒歩にて登下校をさせるなど、日頃から生活リズムを整え、運動にも親しむ習慣が身に付くようにしましょう。

児童アンケート

「朝ご飯を食べて登校している」

(児童3. 8)

児童の95%が概ね「毎日朝食を食べて登校している」と回答しています。朝食の役割や重要性について、関連する教科等の時間や学校行事等の機会、栄養教諭により指導等を通じて、継続的に指導していきます。

保護者アンケート

「朝ご飯を摂ることは大切」

(保護者3. 3)

「朝食を摂ることは大切である」と回答した保護者は95%です。これからも『早寝・早起き・朝ご飯』など望ましい生活習慣の確立に向けて、双方向の取組を行っていきます。ご協力をお願いします。

児童アンケート

「給食は好き嫌いをせずに食べている」

(児童3. 3)

98%の児童が、「給食を好き嫌いせずに食べる」と回答しています。これからも嫌いなものでも一口は食べてみようとする気持ちを育つよう、保護者の皆様の理解と協力を得ながら、日常の給食指導において根気強く指導します。

なお、学校で学んだことを家庭の食事で実践できるように協力ををお願いします。

保護者アンケート

「栄養のバランスを考えた食事をとることは大切」

(保護者3. 2)

保護者の96%が「栄養のバランスを考えた食事が大切である」と回答しております。朝食をはじめ「主食、主菜、副菜」をそろえるなどして栄養のバランスのよい食事を心掛け、心身の成長や健康の保持増進に努めていただきますようお願いいたします。

ご意見について

- ・気になる所はこまめに先生方と連絡を取り合うことができ、安心してお任せしております。
- ・勉強に集中できていない子どもへの配慮も大切だと思いますが、しっかりと学びたい子どももいますので、その子どもたちへの指導や配慮もよりお願いしたいと思います。
- ・教職員のみならず、本当に親切な方ばかりで安心して子供を学校に通わせることができています。ありがとうございます。
- ・昨年度、個人懇談が希望者のみ、になったことについて、残念でした。家庭での様子と学校生活の様子とでは少なからず相違がある中で、保護者の方全員が、我が子の姿を知る機会が必要だと思う。そうすることで、我が子の課題や問題を、家庭、学校双方でアプローチ、支えていくことが出来ると思う。今年の7月の懇談は全員だったので安心しました。今後も、ぜひ全家庭との懇談を継続して欲しいです。
- ・外国への興味について、ALTのアンディ先生の話をよく聞きます。姉、兄(中学)と同じ先生という事もあってきょうだい間でアンディ先生の手品みたことある?など共通の話題を話しているため、中学、小学校と同じ先生だときょうだいの話題にあがりやすく、また英語への興味も楽しいものになるのかなと感じています。
- ・いつもお世話になっております。学校と家庭との繋がりが途絶えることなく繋がっていただけたら安心して過ごせますので、変わらずよろしく願いいたします。
- ・登校時いろんな先生や地域の方々声がかけてくださり、気にかけていただいているのがとてもありがたいです。
- ・いつも保護者会や懇談、PTA会議でも、先生方がいろいろと子供たちの話を聞かせてくださるのでありがたいです。これからもよろしく願いいたします。
- ・勉強に集中できていない子どもへの配慮も大切だと思いますが、しっかりと学びたい子どももいますので、その子どもたちへの指導や配慮もよりお願いしたいと思います。



たくさんのご意見ありがとうございました。

今年度は、あたたかな学校、楽しく学び合う子の育成を重点目標としております。保護者の皆様につきましてはこれからも子どもたちが楽しく、安全・安心な学校生活を送ることができるよう、家庭・地域との連携・協働を大切にしたい学校づくりに努め、「やさしく かしく たくましい」子どもの育成に職員一丸となって努めていきたいと思っております。何卒ご理解とご協力、ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。